



企業から見たRIST

金剛株式会社 テクノ部長
RIST 幹事・企画委員

石川 日出男

RIST発足以来早くも10年が経ちました。RISTは熊本における純粋な技術者（経営者でない）を中心とした技術研究の場であり、金剛株式会社としては次の期待を持って10年間色々な行事に参加し、多くの目的を達しました。

- ①生の技術情報を入手する場（最新技術情報をface to faceで入手できる）
- ②地域における技術マップ確立（問題解決のための人脈・支援体制の確保）
- ③製品開発のアウトソーシング（共同研究 技術指導 新技術導入）
- ④自己啓発の場（有識者・高度技術保有者との交流による刺激と意欲の醸成）

具体的には、RISTの各種行事に次のような参加の仕方をしています。

a) 技術・情報交流（シンポジウム・各種フォーラム・フロント・交流会）

主として部課長が参加しています。高度な技術情報の入手はともかく講師・出席者の先生方と交流ができて、新・旧色々な人脈を得ています。

b) 教育研修（イブニングスクール・研究セミナー等）

若手技術者の出席希望者を中心に参加しています。学生の時の専門外基礎講座や最新の技術講座に人気があり、文字通り専門技術教育の場として活用させていただいています。

c) 技術検討会・共同研究

今後伸ばしたい分野の研究会に、中堅技術者を中心に参加しています。多くのテーマに参加したいが、人材的な余裕が少なく限られた研究会のみ参加しています。これは直接に共同研究成果を期待するよりは、将来のテーマとしての可能性を期待してウオッチしていることになります。

当社は板金加工製品を主製品として営業展開をしていますが、これからの社業発展のためには、高付加価値製品の確保は必要不可欠です。若手社員を中心に当社のエレクトロニクス・情報通信技術も育ちつつあるが、これ等の指導層が薄くなかなか中心技術へ至りません。しかしRISTを中心とした地域の大学等から色々な支援を受けて、当社の製品もインテリジェント性を高めつつあります。

その例として、自己診断機能を持った電動式移動棚、全自動集密型保管システム、Kネット応用カルテ検索指示システム等があります。

金剛株式会社は、これからもRISTとともに地域の応援をいただきながら、発展できる企業でありたいと思っています。